

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年3月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676900113
法人名	医療法人 共生会
事業所名	びろうの樹
所在地	鹿児島県志布志市有明町野井倉6166番地1 (電話) 099-474-0033
自己評価作成日	令和4年2月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・楽しく生活できるようにお手伝いします
 ・地域の方との触れ合いを大切にします
 ・いつまでも安心して過ごせるように対処します。
 この3つの理念を念頭に入居者が充実した日々が送れるように支援しています。また入居者が安心して生活できるように、医師・看護師等、様々な職種と情報交換を行い連携を図っています。
 当事業所ではスタッフの意識・技術の向上を図るためキャリアパス制度を導入し、それぞれのスタッフが目標を立て、その目標を達成できるように日々取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は運営母体が医療法人で、関連施設や事業所も多く、ホームにも看護師が在職し24時間医療連携体制が整っている。
 ・ポニーやヤギ等を飼育し、入居者や訪問してくる子供たちの癒しになっている。
 ・自治会に加入し、例年は地域行事に参加したり、ボランティアや学生の職場体験等の受け入れもして地域と親しく交流していたが、コロナ禍の為現在は自粛している。
 ・コロナ禍の為面会を制限しているが、必要条件の整った家族には、面会や自宅訪問を行っている。
 ・身体拘束廃止委員会に参加し、利用者がのびのび楽しく暮らせるように支援している。
 ・管理者は職員とコミュニケーションが良く、研修の参加や資格取得の支援を行い、職員の質向上や働く環境の向上に力を入れている。
 ・グループホーム便りを毎月発行し、「ホームや利用者の状況が良く分かる」との家族の声がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼時に毎回理念を再確認し、その日その日理念に合った目標を立て業務に当るようにしています。	母体法人の理念に沿った独自の理念を作成し、パンフレットにも掲載し、玄関やホールに掲示している。申し送り時に唱和し、ミーティングで振り返り確認している。年間目標や月間目標・今日の目標を決めて支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会に加入し、清掃作業等に参加し交流を深めると共に自治会長や民生委員の方に運営推進会議や防災訓練等に出席頂いております。	自治会に加入しコロナ禍でも総会や清掃・子供たちの登校時の見守り等に参加している。コロナ禍の為、制限もあり、回覧板等による地域の情報を得ている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	通年、中学生の職場体験や看護科の高校生の実習等受け入れ、若い世代に認知症状の理解を深めてもらう取り組みを行っていますが、現在感染症対策の為、職場体験学習などの受け入れは制限をかけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在感染症対策の為運営推進会議の開催は難しい為、入居者・ご家族・行政・地域の方には文書にて入居者の方の近況・グループホームの近況などを報告し、様々な意見を頂きそれを参考にして運営サービスの向上に努めています。</p>	<p>コロナ対策のため、市の了承を得て書面会議で開催し、委員の方々には現状報告や課題を文書で送付している。コロナ感染対策の質問や意見が多く、運営に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議を中心として、市役所・地域包括支援センター・社会福祉協議会と連携を取りサービス向上を努めながら、協力関係を築けるよう努めています。</p>	<p>電話や窓口訪問して現状や取り組みを報告し、意見やアドバイスをもらい、協力関係ができています。運営推進会議の参加もあり、市の研修には参加している。グループホーム連絡協議会の研修にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の無いケアを目指し、身体拘束の知識・理解を深める為、毎月のミーティング時に身体拘束委員会を開いています。又法人内の勉強会に参加し、拘束廃止に努めています。玄関の施錠に関しては夜間限り防犯の為施錠を行っています。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を2ヶ月毎に開催し、毎月ミーティング時にも勉強会をしている。法人の勉強会にも参加し、拘束の具体的な行為を職員は正しく理解し、言葉の拘束や玄関の施錠を含め拘束のないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の為に、事業所内での勉強会を開催し、普段のケアの中で、不適切なケアがないか毎日のカンファレンスの中で意見を出し合い全職員で振り返りを行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立生活支援事業者や成年後見制度の勉強会を開催実施。職員一人ひとりが理解してもらい、活用できる環境作りを行っています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、十分な説明を行い、同意を得た上で契約を頂いています。又話しやすい環境作りの為に、職員側から声をかけ話しやすい環境を作り、ご家族の不安や疑問を取り除いています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱の設置を行いご家族面会時やボランティア等の第三者の方々から意見を頂き、その意見をミーティング等全スタッフで話し合い、又運営推進会議等で検討しサービス向上に繋げています。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聴き、家族からは面会時や運営推進会議の時等に聞いている。洗濯物についての要望があり、家族の意見は運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々のカンファレンスや朝礼時、月1回のミーティングを中心に意見を出して頂きそれを運営に反映させている。</p>	<p>管理者は日々のコミュニケーションを心がけ、職員が働きやすい職場を目指している。年3回個々の面談もあり、その他随時に行っている。カンファレンスやミーティングでも意見が出されている。入浴介助や運営に関する意見が多い。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の人事考課表・キャリアパス作成により、自己の目標を立て評価し、又管理者・経営者の評価を受け、重要な意見として活かしています。</p> <p>又、基本給のベースUP及びボーナスに反映させています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内・外部の研修への参加をしてもらい、自己研磨に努めてもらうと共に、それを事業所内でも、実践で活かせるように伝達講習及び勉強会を開催して、全職員のスキルアップを目指しています。又キャリアパス制度を導入し毎年個別に目標を定めスキルアップを目指しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県・大隅地区のグループホーム協議会に所属しているが、現在感染症の事もあり交流自体が減っている。研修を通じてネットワーク作りを行い、サービスの向上に努めていくつもりです。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前ご本人やご家族のニーズを探り、慣れない環境での生活が不安なく過ごせるようにコミュニケーションを取り、又声を聴きより良い信頼関係が築くことができる様に取り組んでいます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申し込み時や利用者様への面会時に、ご家族様の意向や相談を聞く時間を多くとり傾聴し、応対する事により、より良い信頼関係を作っていけるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者と入居者の担当がアセスメント表を作成し、必要としている支援の見極めを行いサービスにつなげています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日を共に過ごす家族として接し、その中で不安や悩み等がないか聴き、感じる事で信頼関係を築き、共に考える事でより良い関係を目指している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	スタッフはご家族と共に入居者を支える事を意識し、ご家族に入居者の近況を伝え、より良い関係を築くことを目指し努力しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症流行の為外出等の支援が難しい中、手紙やタブレットを活用し関係性が途切れないように支援しています。	コロナ禍の為、面会や地域行事・外出を自粛している。条件が整っておれば家族と話し合い、行事に参加することもある。手紙や電話・タブレットで交流や話をしている。関係性が途切れないように工夫して支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人ひとりの性格や個性を把握し、良好な関係が築けるように座席の配置などソーシャルディスタンスを考えながら支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も、必要に応じてご家族の相談を受けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを図る事で本人の思いや不安を聴き、感じ、それをカンファレンス等で共有し解決策を模索するように努めています。	日常の暮らしの中で思いを聞いている。意思疎通の困難な利用者には表情や発語の有無・生活歴・家族の情報から職員で話し合い、本人本位に検討し共有している。希望によるノンアルコールでの晩酌を提供する時もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族を中心にアセスメントを行い定期的にモニタリングを行っています。、又現状のサービスの評価を行い経過の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者の様子観察し、それを担当が中心となり日々のカンファレンス等で他のスタッフに伝え情報を共有し、全スタッフが現状の把握に努めている。又、専門職（OT・PT・栄養士）からも意見等頂いており、それを日々の支援に生かしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者・家族の意向を聴き、又スタッフとも意見を出し合い、それぞれの意見を反映させプランを作成している。又プランの内容を全スタッフで共有し支援を行っている。	本人や家族の希望や意見を聞き、職員で課題を検討し、主治医の意見を基に現状に即した介護計画を作成している。介護記録のモニタリングは毎月行い、書面評価は3ヶ月に1回、見直しは6ヶ月に1回または状況に即して行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援記録を細やかに記録し日々の生活が見える様にしている。又課題や気づきがあった場合にはその都度カンファレンス等を通し情報を共有し検討している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	全スタッフが様々な要望・ニーズに対し柔軟に対応し充実した毎日が送れる様に努めている。又様々なニーズに対応できるように必要時は専門職等にも協力をもらっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方・ボランティア・民生委員を通じて、利用者様が地域で安全安心に暮らせるように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週火曜日に主治医が往診しており、体調等の変化等を報告し適切な医療を受けている。又、ご家族の希望や意向に添えるように支援しています。	かかりつけ医は、本人が希望する母体医療機関である。毎週火曜日に往診がある。緊急時の24時間医療連携体制が整っている。受診は看護師が付き添い結果を報告している。他科受診は家族が付き添い、歯科は訪問診療である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>どんな細かい事でも異変を感じた時には看護師に報告し相談し個々にあった医療を的確に受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>施設内の看護師が主となり、母体の病院関係者と情報交換を行っています。又施設介護職員も毎日面会に行き、日々の様子を聴きご本人と面会をし安心して頂けるように声掛けを行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時を始め、定期的に施設内の看護師がご家族に説明を行い同意を得ています。又、主治医・ご家族の協力を得ながら支援しています。又看取り期にはご家族と密に連絡を取り合いご本人らしい最期が迎えられるように努めています。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針を契約時に本人や家族に説明し、同意書をもっている。状態変化に伴いその都度、主治医を交えて話し合い、意向を確認しながら希望に沿って支援している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>日々のカンファレンスの中で、事故発生時の対策を話し合っています。又定期的に勉強会を開催し看護師・医師から助言を頂きながら知識及び技術の向上を図っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、火災の避難訓練を行い有事の際的確に避難が行えるように努めています。訓練時には地域の方、消防の方とも協力を得て実施しています。又、有事の際の備蓄（水・食料）も行っています。</p> <p>現在PCRを法人全体で作成中（今年度中に完成予定）で災害時に業務が継続できるように取り組んでいます。</p>	<p>消防署立会いの訓練実施日に他所で火災があり、自主訓練となった。年2回、夜間想定で初期消火の仕方、避難経路、避難場所の確認等を実施している。地域の協力もあり、事業所は地域の避難場所でもある。市主催の津波等災害時の避難訓練にも参加している。備蓄は、米・水・レトルト食品等を用意し、ガスコンロもある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の尊厳を守る為の言葉掛けや接遇の方法を勉強会等で学んでいます。	マニュアルを基に毎月接遇マナーの勉強会を実施している。法人での研修もある。名前はさんづけで呼び、入浴介助は同性介助、トイレ介助はさりげなく声かけし羞恥心に気配りして、誇りやプライバシーを損ねないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	支援をするにあたり常に本人が選択できるように声掛けを工夫し本人の意思を尊重するように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設側の都合を優先する事が無いように本人の生活リズムを全スタッフが把握し本人らしい生活ができる様に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合わせ、利用者様ご本人に洋服を選択してもらい着用して頂いております。又、毎朝整容し身だしなみを整え、その人らしく支援するように心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食評価を行い、入居者の嗜好に合わせて感想も聞き、参考にしています。 台拭きや盆拭き等、片付けを中心に行ってもらっています。	法人厨房からの配食である。朝食は職員が調理している。毎週給食会議を行い、嗜好や残食・食形態に配慮し、好みや旬の物を取り入れている。行事食のおせち・七草粥・敬老の日等、楽しんでいる。台拭き・下膳・つわの皮むき等、職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに関しては、管理栄養士が作成した献立を用い、助言をいただいています。水分量については、毎日集計をとり少ない方には嗜好を知り確実に摂取出来るように提供しています。又必要時には看護師にも助言をもらい水分摂取に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアと共に、職員が仕上げ磨きのお手伝いをさせて頂き、口内の異常の有無の確認を行い衛生管理に努めています。又、歯科医の往診の際に、助言も頂いております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	チェック表をもとに排泄パターンを把握し、極力トイレ誘導を行いトイレでの排泄を促している。	チェック表から個々のパターンを把握し声掛け誘導している。基本はトイレでの排泄を支援している。夜間のみポータブルトイレ使用者もいる。看取りの人以外は全員リハビリパンツである。介護用品の選択も含め自立に向けた取り組みを支援している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動・水分を基本とし、ご本人に合った水分を摂取して頂くと共に、医師・看護師と相談しつつ、必要であれば下剤を活用して、便秘予防策に努めています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の時間は常に本人の希望を聞きそれに合わせている。又好みの入浴剤・シャンプー等があればそれを使用し楽しんで入浴ができる様に努めています。	週3回午前中であるが、希望があれば午後も可能である。同性介助であり、拒否の人にはタイミングをみて声かけしている。脱衣場の温度にも注意している。好みの入浴剤やシャンプーも使用し支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して休んで頂けるように本人の生活習慣を把握し、好みの照明・安眠できる環境を整え熟睡できるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ全員がどのような薬を飲んでいるのか、なぜこの薬を飲んでいるかを理解、把握するように努めている。又症状の変化にも気づける様に観察・注意をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴を把握し、今までの生活と同様な暮らしが出来るように、役割・嗜好品・楽しみを見極め、いつでも気分転換ができるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>現在感染症対策の為思うような外出が出来ていないが、平常時には利用者様から希望がある時には希望に添った場所、希望の日に同行外出し気分転換してもらっています。ご家族にも協力を得て外出支援に努めています。</p>	<p>コロナ禍のため外出は思うようにできないが、外気浴や周辺の散歩をしている。希望でドライブに出かけている。敷地が広くポニーややぎ数頭を飼っており楽しめる環境がある。初詣・相撲大会・花見・買い物・家族との外出を自粛している。コロナ終息後の外出を検討している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分のお金を自由に使える事が心の支えになり、現在は感染症対策の為、積極的に外出は行っていないが平常時には買い物を中心とした外出支援も行っています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の希望時には、電話やタブレットを使用し会話を楽しんで頂く支援をしたり、定期的にここでの生活状況を載せた新聞を送付したり年賀状を出したりしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>安心・安全に生活して頂けるように環境に配慮し不快に感じる事が無いように努めています。又カンファレンス等で職員間で話し合い環境整備に努めると共に、清潔な環境で生活して頂く為、整理整頓をし掃除を行っています。又感染症予防の為、換気や消毒液等での拭き上げを行っています。</p>	<p>窓が大きくて明るく、広い敷地や自然が見渡せる。加湿器があり、温度・湿度・採光・換気に気を配り、季節感のある花や飾り物があり、ユニット間の交流も自由にでき居心地良く暮らしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日々の行動・発言から読み取り、気の合った方との会話が楽しめる様に座席の配置を考慮したり、利用者様一人ひとりが好きな時間、好きな場所で過ごせるように環境を整えるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人・ご家族に協力を得ながら必要であれば馴染みの品を持ってきていただき、利用者様一人ひとりに合った環境を整え落ち着ける居室作りを行っています。	洋室と和室がある。エアコン・ベッド・タンス・押し入れが設置されている。寝具はリースである。好みの布団や小物・家族写真・ラジオ・加湿器が持ちこまれ、安心して過ごせる居室である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全スタッフが入居者の「できる事・わかる事」を把握し、安全に自立した生活が送れるように、職員間で話し合い環境整備を行っています。又居室・トイレ・洗面・浴室等の案内板を設置し入居者が迷う事無く安心して生活できるように努めています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない